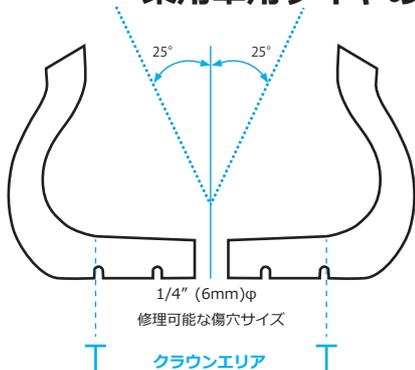


Instructions for Quill Seal



クイルシールの使用方法

乗用車用タイヤの修理可能範囲について

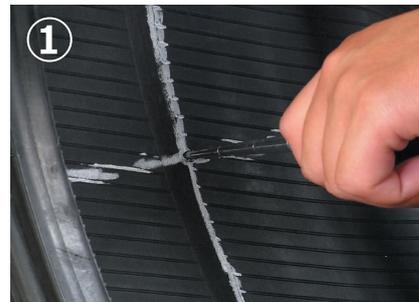


修理可能な傷穴は6mmまでとなります。また修理可能エリアは、下記のT-T内となります。

- 注意事項
- ①安全作業の為にゴーグル（安全メガネ）、防塵マスク、手袋を使用してください。
 - ②セメント作業の際には、換気の良い場所にて作業してください。
 - ③変形した工具類の使用はしないでください。
 - ④テック社以外のセメントを使用しないでください。本来の修理性能、品質が得られない事があります。
 - ⑤作業している近くでは、禁煙を厳守してください。
 - ⑥セメントは、本来の用途以外に使用しないでください。



- 下記の状態のタイヤは、修理できません。
- 1、空気圧の低い状態で走った形跡のあるタイヤ
 - 2、セパレーションを起こしているタイヤ
 - 3、スリップサインの出ているタイヤ
 - 4、コード及びビースチール等が露出しているタイヤ
 - 5、ビード部分に損傷のあるタイヤ
 - 6、オゾンクラックのあるタイヤ
 - 7、衝撃によるダメージのあるタイヤ



① タイヤをホイールからはずして、タイヤ内部を点検します。



- ① 704 (リッファー液) または 704A (スプレーリッファー) を使用して、傷口中心に塗布します。
- ② 933 スクレーパーを使用して塗布した周辺の汚れ、シリコンを完全に除去します。
- ③ これを 2 ~ 3 回繰り返します。



- ① 低回転 (5,000rpm) のドリル、エア pBuffer を使用してください。
- ② 傷口を中心に 236J の直径よりも若干大きめにパフします。



- ① ワイヤブラシを使用して、先程パフした面を再度軽くパフしてください。
- ② パフ面のパフングダストを取り除きます。この時、バキューム等をパフエリアに接触させないように注意します。



- ① 760 ケミカルセメントを 915 スパイラルツールに塗布して、傷穴に充分セメントを入れてください。
- ② この作業を 3 ~ 5 回繰り返して、最後は、スパイラルツールを傷口に挿入した状態にしておいてください。

※この工程は、非常に重要です。



- ① 裏の青いポリを剥がして上の写真のように、セットします。(グレーの部分に触れないようにするためです。)
- ② クイルシールを持つときには、青いポリの部分を持ち、グレーの部分に直接触れないようにします。



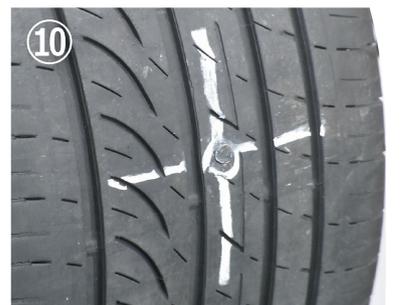
- ① クイルシールをタイヤ内側から押し、表側に出た部分を引っ張ります。
- ② クイルシールのパッチ部分が、しっかりタイヤ内側インナーライナー部に付いていることを確認してください。



- ① 936 ステッチャーローラーをセンターから外側に向かって掛けます。
- ② 途中で青いポリを取り除き、再度、しっかり掛けてください。
- ③ 最後にクリアポリを取り除きます。



- ① 外側に出ている部分をカットします。
- ② この時、3mm 程度残してカットしてください。



- ① 修理完了です。
- ② タイヤにセットして再度、最終確認をしてください。